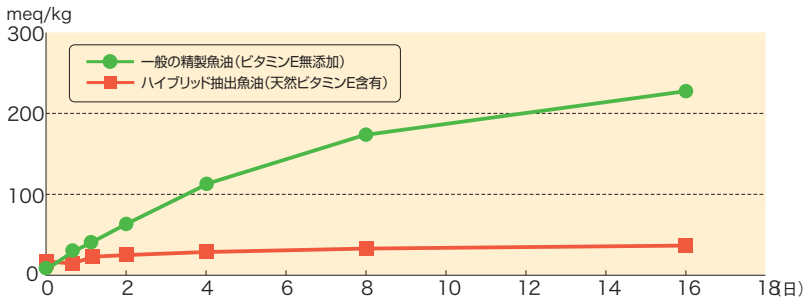


# “ハイブリッド抽出法” 鮭油の特長

## 酸化の安定性

### ハイブリッド抽出魚油の酸化安定性

ハイブリッド抽出魚油は一般の精製魚油に比べ、過酸化価の上昇が非常に低いことが図から分かります。これは原料となるマグロの漁獲時からの低温管理、さらにハイブリッド抽出によってビタミンEが抗酸化ビタミンとして豊富に魚油に残っているためです。



## 加熱試験

関西大学福永健治PhD.での分析結果ではフライ調理に使っても酸化しないことが確認されました。(加熱温度180℃)

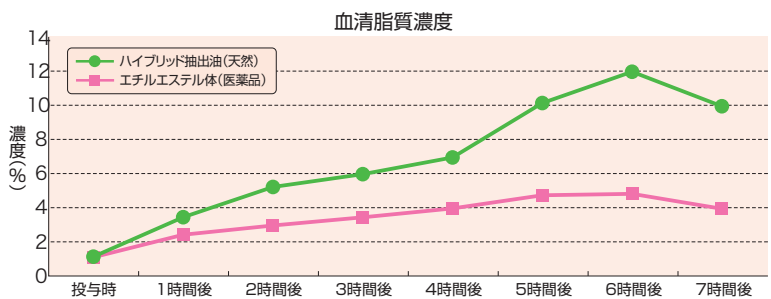
	未加熱	加熱後	油調後	1日後	2日後	3日後	4日後	10日後
DHA	20.1	20.3	21.3	20.9	21.2	20.9	20.8	19.0
EPA	6.7	6.6	7.0	7.1	7.1	7.1	7.1	6.2
酸価	1.18	1.41	1.33	1.23	1.24	1.37	1.37	1.72
過酸化価	1.58	0.87	1.31	1.17	1.22	1.08	1.38	0.6
共役ジエン	0.054	0.062	0.089	0.091	0.109	0.113	0.114	0.129

## 吸収性の比較

ハイブリッド抽出油は医薬品より2~3倍吸収性と吸収率が高い

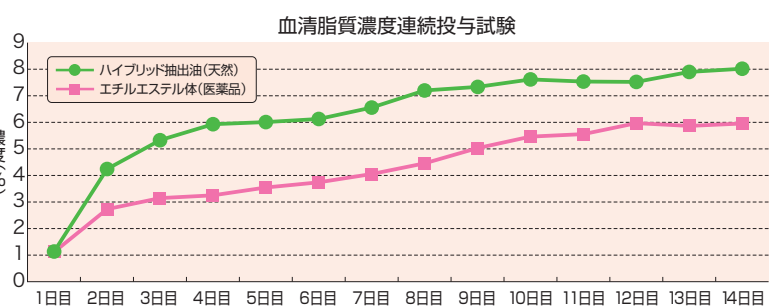
血清脂質中EPA+DHA濃度の比較(吸収性)ハイブリッド抽出エチルエステル体(医薬品)

投与時	1時間後	2時間後	3時間後	4時間後	5時間後	6時間後	7時間後
1.1	3.5	5.3	6.0	7.0	10.2	12.0	10.0
1.1	2.5	3.0	3.5	4.0	4.8	4.9	4.1



同連続投与試験結果ハイブリッド抽出エチルエステル体(医薬品)

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目	13日目	14日目
1.1	4.2	5.3	5.9	6.0	6.1	6.5	7.2	7.3	7.6	7.5	7.5	7.9	8.0
1.1	2.7	3.1	3.2	3.5	3.7	4.0	4.4	5.0	5.4	5.5	5.9	5.8	5.9



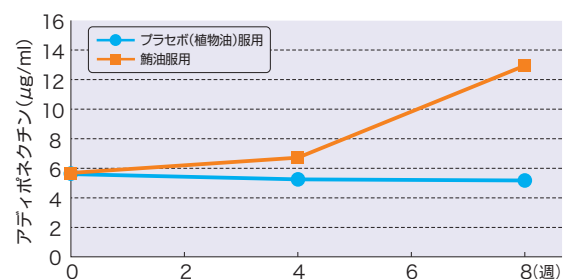
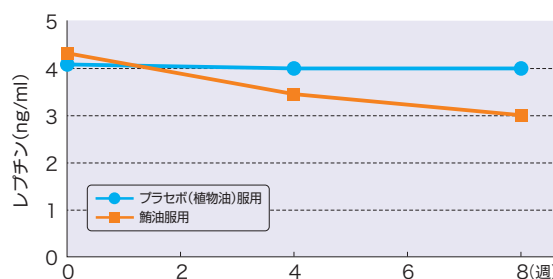
## 鮭油によるレプチン、アディポネクチン増減作用

**レプチン**: 肥満症に関連する重要なホルモンで、一般にレプチンが減少すると体脂肪も減少すると言われている。

**アディポネクチン**: 内臓脂肪を減らし、血圧を下げ、動脈の傷修復等様々な効果を示すホルモン。

### 0~8週服用データ

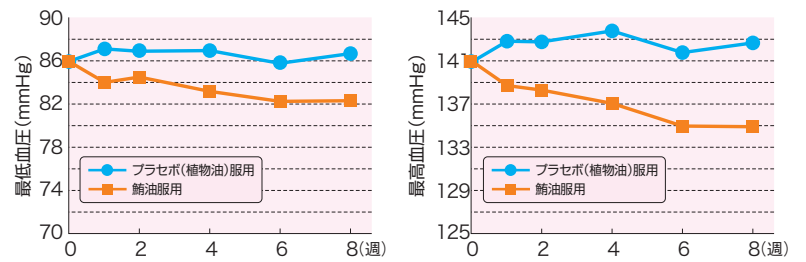
プラセボ(植物油)服用/17人 鮭油服用/17人  
摂取量: 鮭油180mg/日 (300mg×6粒)



## 鮭油の血圧降下作用

### 0~8週服用データ

プラセボ(植物油)服用/17人 鮭油服用/17人

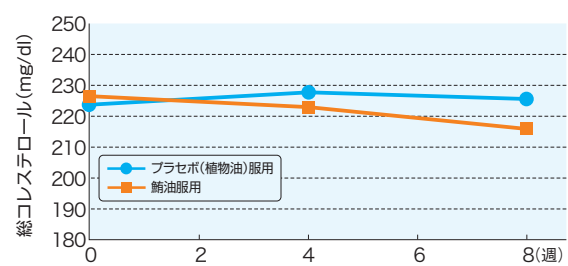


◎鮭油服用により最低・最高血圧とも下がった。(0~8週)

## 鮭油のコレステロール降下作用

### 0~8週服用データ

プラセボ(植物油)服用/17人 鮭油服用/17人

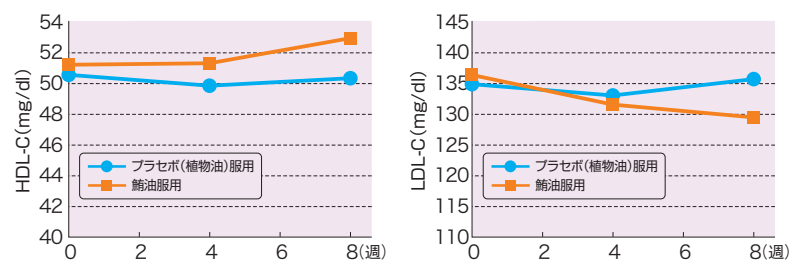


◎鮭油服用により血中コレステロールが下がった。(0~8週)

## 鮭油によるHDL-C、LDL-Cの増減作用

### 0~8週服用データ

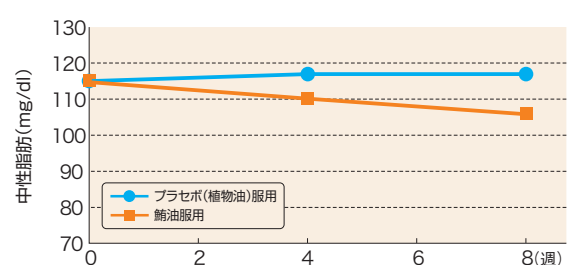
プラセボ(植物油)服用/17人 鮭油服用/17人



## 鮭油の中性脂肪降下作用

### 0~8週服用データ

プラセボ(植物油)服用/17人 鮭油服用/17人



◎鮭油服用により中性脂肪が下がった。(0~8週)